

オンライン・ミニシンポジウム 志津川湾の藻場研究

ラムサール条約湿地登録志津川湾における藻場研究40年史、最新の磯焼け研究、全域分布調査など、幅広い話題を網羅したミニシンポジウム。3名の研究者による講演と座談会で、藻場の過去・現在・未来の姿と、湾の持続可能な利活用に向けたヒントが浮かび上がる。

講演：

- 全域調査で見た志津川湾の藻場の現状
阿部拓三（南三陸町自然環境活用センター）
- 志津川湾における震災後のアラメ藻場の再生に向けて
吾妻行雄（東北大学名誉教授）
- 志津川湾の藻場研究40年史
田中次郎（東京海洋大学名誉教授）

座談会：

演者3名にファシリテーターとして当センター代表の太齋が加わり、藻場研究よもやま話を展開。オンラインコメントも交えた自由な対話から、志津川湾の特徴と賢い海の使い方についての理解を深めます。



日時：2021年2月6日（土） 14：00 開演
16：40 終了予定

会場：南三陸町自然環境活用センター
ライブ配信 <https://youtu.be/awmjgOsoTlg>
（現地観覧希望は別途お問合せ下さい）

参加費：無 料

主催：（一社）サステナビリティセンター

協力：南三陸町自然環境活用センター
（愛称：南三陸ネイチャーセンター）

問い合わせ先：050-5236-2263（太齋）

